旅館・ホテルの景気DI
2ヵ月ぶり1位に
11月 帝国データ調査
「宿泊需要が旺盛」

帝国データバンクがこのほど公表した景気動向調査の2024年11月分で、旅館・ホテルの景気DI（0～100、50が判断の分かれ目）は前月比3・1ポイント増の60・0と3カ月連続で改善するとともに、51の業種別で2カ月ぶりの1位となった。企業から「出張客や催事が多く、宿泊需要が旺盛」「インバウンド流入が顕著」などの声が上がっている。

全業種計は同0・1ポイント増の44・4と2カ月ぶりに改善。「国内景気は、災害復旧工事などがプラスとなった一方で、耐久消費財が不調だったことなども響き、わずかな改善にとどまった」（同社）。

旅館・ホテルは9月に6カ月ぶりとなる1位になり、10月に電気通信に続く2位に順位を下げたものの、11月は再びトップとなった。

判断の分かれ目の50を超えたのはこのほか、情報サービス（54・0）、電気通信（53・0）、放送（51・6）の3業種。ほかに、専門サービスがボーダーラインの50・0だった。旅館・ホテルを含めたこれら全てが10業界のうちの「サービス業界」となっている。

10の業界別では、サービスが同0・1ポイント増の49・9。運輸・倉庫が同1・2ポイント増の45・9。小売が同0・3ポイント減の39・4と業界別で最も低かった。

10の地域別では東北、中国、九州など5地域が改善。北陸など3地域が横ばい。北海道、南関東の2地域が悪化した。熊本がTSMCの効果や観光客の増加で7カ月ぶりに50台に回復した。

企業の規模別では、中小企業が改善。大企業と小規模企業が横ばいだった。

景況感について、企業の主な回答は次の通り。

開発工事やシステム保守などの出張客に加え、秋は街おこしなど地域イベントや商業施設催事も多く、宿泊需要は旺盛（現在、良い、旅館）。

「値上げの効果が出てきている」（現在、良い、一般乗合旅客自動車運送）。

「コロナ収束と円安効果で国内および外国人旅行者が増加」（現在、良い、港湾旅客海運）。

「忘年会シーズンに入るほか、紅葉などを観に遠出する顧客が増えてきた」（現在、良い、一般乗用旅客自動車運送）。

「インバウンドの流入が顕著に増えており直接売り上げへとつながっている。また、オフィス回帰も進んでおり、昼食難民が見受けられる」（現在、良い、各種商品小売）。

「インバウンド需要でホテル設備投資が旺盛。ファンドによるホテル買収・リブランドのほか、外資系ホテルの新規出店もみられる」（現在、良い、電気配線工事）。

「有名な観光地は非常に良いと言えるが、周辺の地域はそれほどでもない」（現在、どちらでもない、リネンサプライ）。

「円安で海外旅行がなかなか回復しない。国内旅行も宿泊代金の値上げなどで需要が停滞している」（現在、悪い、旅行業代理店）。

「為替レートは長期的に円安で推移すると予想。また、2025年度は万博など需要が高まる要素が多くある」（先行き、良い、旅館）。

「インバウンドの好調は続くと見込んでいる」（先行き、良い、一般貸し切り旅客自動車運送）。

「冬場に向けてインバウンド需要が増加する見込み」（先行き、良い、外航旅客海運）。

「需要は順調に推移する見込みなので、乗務員を確保できれば良い状況は続くと考える」（先行き、良い、一般乗用旅客自動車運送）。

「円安や原油高による影響は継続する見通し」（先行き、悪い、旅行業代理店）。

旅行や購入で復興応援
諏訪信金 のと共栄信金に協力

諏訪信用金庫（長野県、田中輝明理事長）は、石川・富山県への年金旅行や地元産品購入で、1月1日の能登半島地震からの復興を応援している。12月6日には、金沢市内のホテルで田中理事長と、のと共栄信用金庫（石川県）の鈴木正俊理事長が面談。田中理事長が継続的な支援の思いを語り、鈴木理事長が感謝の気持ちを伝えた。

両信金は企業支援などで以前から交流があり、地震発生後の1月5日には、諏訪信金からのと共栄信金にミネラルウオーターのペットボトル336本と、簡易トイレ300個が届いた。田中理事長は「BCP（業務継続計画）の観点から備蓄していた物資をすぐに送った」と振り返る。鈴木理事長は「本店がある七尾市でも3月ごろまで水道が使えず、簡易トイレがなければ本店・本部を閉めなければならなかった」と話した。

11月21、22日と12月5、6日には、諏訪信金が年金受給者向けに北陸旅行を実施。両日程で合計約80人が参加。復興の応援を掲げたこともあり、キャンセル待ちが出るほどの人気となった。訪問先は、のと共栄信金の協力で決定。参加者たちは、金沢市内の兼六園、近江町市場などを観光したほか、同市内の和倉温泉・加賀屋直営レストランで懐石料理を堪能した。

また、諏訪信金では、能登産品を購入して応援する企画も実施。のと共栄信金の取引先による、するめいかや干物の詰め合わせのチラシを作り、営業店などで情報発信。その結果、11月20日までに合計600セットを販売した。

（記事提供・日本金融通信社＜ニッキン＞）

ホテル・旅館経営業者の倒産

月	2023年 件数	2023年 負債総額（百万円）	2024年 件数	2024年 負債総額（百万円）
1	3	510	8	7,786
2	2	2,596	5	4,640
3	13	3,477	5	672
4	5	1,879	11	1,880
5	7	3,172	3	2,277
6	8	3,455	4	1,059
7	2	483	10	3,995
8	3	84	1	1,200
9	10	3,537	4	360
10	9	1,023	8	4,053
11	1	1,670	7	1,226
12	4	1,680		
合計	67	23,566	66	29,148

ホテル・旅館 11月の倒産
7件、負債12億円
帝国データ調査
額は累計で前年超す

帝国データバンクによると、2024年11月のホテル・旅館経営業者の倒産は7件、負債総額は12億2600万円だった。件数は前年同月比6件増加（600・0％増）、前月比1件減少（12・5％減）。額は前年同月比26・6％、前月比69・8％それぞれ減少した。

件数は24年の月別で5番目に多い数字。額は5番目に少なかった。

1月からの累計は、件数が前年同期比3件増の291億4800万（4・8％増）の66件。負債総額が同33・2％増

4件、負債3億円
旅行業の倒産

帝国データバンクによると、11月の旅行業の倒産は4件、負債総額3億2900万円。件数は前年同月、前月と同数。額は前年同月比135・0％、前月比321・8％それぞれ増加した。

件数は24年の月別で6番目に多い数字。額は6月、2月に次いで3番目に多かった。

1月からの累計は、件数が前年同期比2件増（9・5％増）の23件。負債総額が同17・2％増の15億5千万円。件数は前年1～12月の数字とこの時点で並んだ。

TPは3ヵ月ぶり増
10月の売上高 経産省調査

経済産業省はこのほど、特定サービス産業動態統計調査の2024年10月分速報を公表した。対個人サービス業の趣味・娯楽関連5業種の売上高は、遊園地・テーマパーク（TP）が前年同月比2・3％増の869億2800万円と3カ月ぶりに増加した。同月はTPとパチンコホールが増加。ほかの3業種が減少した。

TPの内訳は、入場料金、施設利用料金収入が2・7％増加。入場者数は一般が1・1％、団体が11・8％それぞれ減少し、全体で1・8％減少した。

パチンコホールは4・6％増の2357億5300万円と28カ月連続で増加した。

ゴルフ場は3・2％減の105億5800万円と2カ月ぶりに減少。利用料金収入が4・0％、利用者数が5・2％それぞれ減少した。

ゴルフ練習場は4・9％減の29億1500万円と2カ月ぶりに減少。利用者数が5・7％減少した。

ボウリング場は1・7％減の13億9500万円と3カ月ぶりに減少。利用者数が4・8％減少した。

対個人サービス業の教養・生活関連5業種の売上高は、フィットネスクラブ、学習塾の2業種が前年同月比で増加。葬儀業、結婚式場業、外国語会話教室の3業種が減少した。フィットネスクラブは35カ月連続で増加した。

大・中堅が上昇超
中小は下降超続く
内閣府など、法人調査

内閣府、財務省はこのほど、法人企業景気予測調査の2024年10～12月分を公表した。同期の自社の景況判断BSI（Business Survey Index＝景況が上昇と回答した企業割合から下降と回答した企業割合を引いた値）は、大企業と中堅企業が上昇超、中小企業が下降超となった。来期（25年1～3月）も同様の見通しだ。

大企業が前期（24年7～9月期、5・1）から0・6ポイント増の5・7。このうち製造業が1・8ポイント増の6・3。非製造業が横ばいの5・4。

中堅企業は1・4ポイント増の3・8。

中小企業は2・9ポイント増のマイナス4・7。前期（マイナス7・6）から上昇も、マイナス水準にとどまった。

来期の見通しは、大企業が3・9、中堅企業が3・7、中小企業がマイナス6・1。

25年4～6月期の見通しは、大企業が2・6、中堅企業が3・3、中小企業がマイナス3・8。

大企業と中堅企業でプラス水準、中小企業でマイナス水準が続く見通しとなっている。

失敗の法則から学ぶ
宿経営者の仕事大全
旅館クリニック 代表 孫田 猛
—36—

お宿は人の身体と同じです

私がお宿の経営相談を打診されたとき、最初に行うのが「旅館ドック」と呼んでいる総合診断です。人に行う「人間ドック」のようなものです。

お宿と人の身体はよく似ているなと思います。どういうことかというと、人は顔や体形などが外から見えます。だけど身体の中は外からは全く見えません。

お宿は施設、料理、サービスといった商品の構成要素や、経営者やスタッフの動きは、外から見えます。お金の状態は、現金預金残高、試算表、決算書で見ることができます。これは血液検査結果のようなものです。

さて私たちは健康であり続けるためのさまざまな知識は一応知っています。適度な運動や生活習慣、食生活に気をつけることですね。理解はしていても、それを実行し、継続することはなかなか難しいですよね。だから時には病気になり、思わぬけがをすることがあります。

その時には医療機関にかかります。そして診断に必要な検査を受けます。

何を検査しているのかというと、臓器がそれぞれの役割を果たしているのか、臓器と臓器をつなぐ経路や血液がうまく流れているのか。どこでどのような不具合が生じているのかです。

お宿では、頭脳は経営者。臓器はそれぞれの部門とそのスタッフです。血液は資金。血管や神経、食道は業務フローです。

さてここに厄介な問題があります。お宿には人のように身近な医療機関がありません。だから経営者自ら、お宿の身体の仕組みと不具合が生じたときの対処の方法を身に付ける必要があります。

外部の金融機関やコンサルタントは、専門分野には長けているのですが、それぞれのつながりがどうなっているのか、お宿全体がどのような状態にあるのかについてはよく分かりません。

だから経営者は本来あるべきそれぞれのお宿の中の役割や、健康な姿について、明らかにしておく必要があるのです。

だからまず経営者は、お宿が健康体である状態について、体系的に取りまとめましょう。そして体系を形成している構成要素をおさえていきましょう。

まずはわが宿の全体としての組織体系、部門の働き、部門長と部下スタッフの権限と責任。部門内および部門間の流れ。各部門とお客さまとの関係性。うまく回っているかどうかの監視体制と定期的な検査方法。それぞれの判断基準（血液検査の検査項目と各基準値の設定）等があげられます。

そして起こりうる病気やけがをあらかじめ想定して、不具合が生じたときの対処方法を、検討しておくことが次のステップです。

悪性の病気の時に、発見や治療が手遅れにならないよう、段階が分かるようにすることも極めて重要です。

人は病気やけがをするリスクが高いものです。今まで医療機関にかかったことがない人は、極めてまれですよね。

お宿も人と同じです。だから病気にはなるものだと思っていたほうがいい。けがはするものだとあらかじめ想定しておいたほうがいいのです。

では誰がこのようなことに危機感を感じ、事前に準備をするのか。それはお宿の経営者です。あなたのお宿の中身を照らし合わせて、それぞれの役割がうまく機能しているかどうか、まずは健康診断から始めてみませんか。スタートは早く始めるに越したことはありません。

失敗の法則その35

お宿が病気やけがをしたときに、治療方法が分からない。

その結果、病気やけがが悪化し、取り返しのつかない状態になる。

だから、いまから健康である状態を作るとともに、いざとなった場合の対処方法について準備しよう。

https://www.ryokan-clinic.com/

10月の消費支出
3ヵ月連続で減少
総務省調査
教養娯楽は2ヵ月ぶり減

総務省はこのほど、家計調査報告の2024年10月分を公表した。同月の消費支出は1世帯（2人以上の世帯）当たり前年同月比で実質1・3％減少の30万5819円と、3カ月連続で減少した。10の費目別では教養娯楽が3・0％減の3万556円と2カ月ぶりに減少した。

教養娯楽のうち、宿泊料は7・1％増の3179円。パック旅行費は名目で12・6％増の2732円。

費目別ではこのほか、増加が光熱・水道、その他の2費目。横ばいが交通・通信。減少が食料、住居、家具・家事用品、被服および履物、保健医療、教育の6費目。

交通・通信のうち、自動車等関係費、通信を除いた「交通」が1・4％減の6044円。

食料のうち、学校給食を除いた「一般外食」が0・6％増の1万4439円。

同月の勤労者世帯（2人以上の世帯）の実収入は、1世帯当たり前年同月比で実質1・1％増の58万675円と、2カ月ぶりに増加した。

このうち世帯主の定期収入は0・3％減の37万3217円と3カ月連続で減少。配偶者の収入は0・1％増の8万7790円と9カ月連続で増加した。

下呂温泉 水明館
〒509-2206 岐阜県下呂市幸田 1268
TEL (0576) 25-2800 FAX (0576) 25-4520 https://www.suimeikan.co.jp/